日立工機

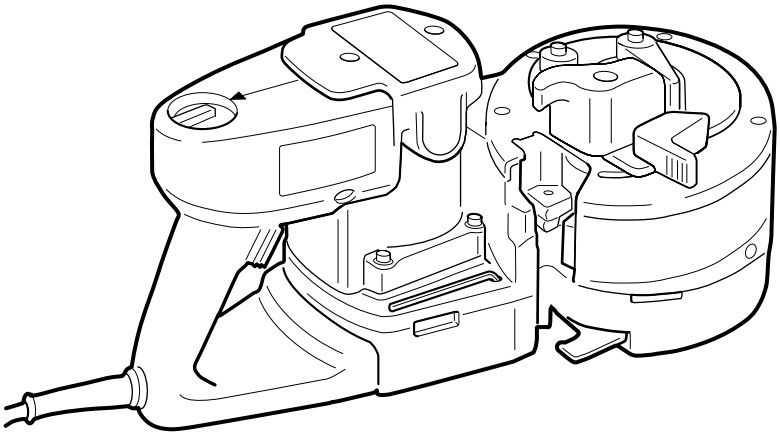
日立鉄筋カットベンダ

13㎜ VB 13Y

取扱説明書

このたびは日立鉄筋カットベンダをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

鉄筋カットベンダの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……6

仕　　様 ……7

標準付属品 ……7

別売部品 ……7

用　　途 ……8

作業前の準備 ……8

ご使用前に ……9

切断方法 ……10

カッタの寿命と交換方法 ……12

曲げ方法 ……13

保守・点検 ……17

ご修理のときは ……18

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告：**誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意：**誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注：**製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⊡ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⊡”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組み立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

鉄筋カットベンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，鉄筋カットベンダとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

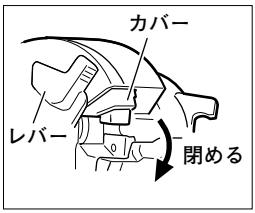
① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。また，PC鋼などの硬い材料を切断したり，曲げたりしないでください。**
破片が飛ぶことがあり，事故の原因になります。

③ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立電動工具センターに点検，修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

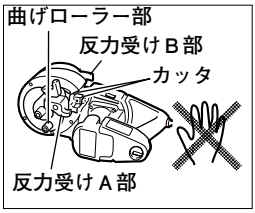
④ **切断作業時以外は，カッタ部のカバーを必ず 閉めておいてください。**
カバーを開けたままにしておきますと，カッタ部に異物をかみ込むおそれがあり，事故の原因になります。

④



⑤ **スイッチを操作する際には，カッタ，反力受け部，および曲げローラー部には絶対に手を近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑤



⑥ **誤って落としたり，ぶつけたときは，カッタや機体などに破損や亀裂，変形のないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 注　意
① **カッタや付属品は，取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。** 確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。 ② **カッタの点検，清掃，交換の際は，さし込みプラグを電源から抜いてください。** 誤ってスイッチを入れてしまうと，けがの原因になります。

各部の名称

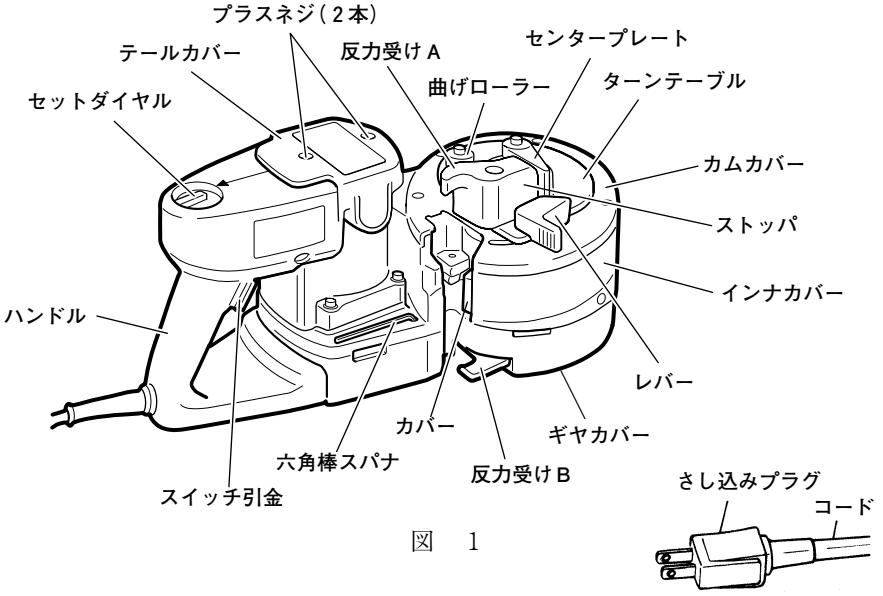


図　1

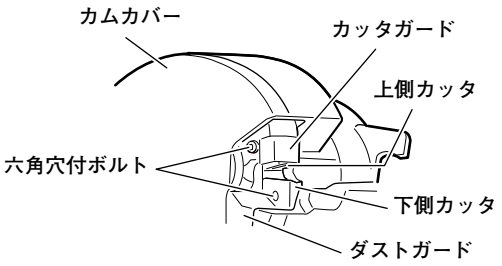


図　2

仕　　様

使 用 電 源　　単相交流 50 ／ 60 Hz　共用
電　　圧 100 V

能　　力　　(1) 材質ＳＤ295，ＳＤ345 鉄筋
(2) 材料径と加工本数

	切　断	曲　げ
一度に加工できる本数	D10 ㎜　1 本	D10 ㎜　2 本
	D13 ㎜　1 本	D13 ㎜　1 本

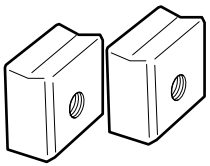
モ ー タ ー　　単相直巻整流子モーター
定 格 電 流　　3 A
消 費 電 力　　285 W
質　　量　　11.5 kg（コードを除く）
コ　ー　ド　　2 心キャブタイヤコード

標準付属品

① 六角棒スパナ（Ｍ５六角穴付ボルト用）‥‥‥ 1 個（本体装着）
② カッタ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 セット（本体装着）

別 売 部 品

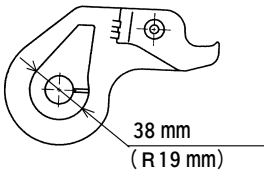
カッタ



＊1 セット 2 コ入りです。
コードNo.316235

図３－１

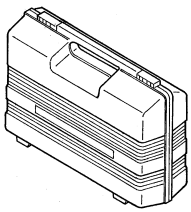
センタープレート（大Ｒ用）



＊鉄筋の曲げ径を変える時に使用します。
コードNo.317677

図３－２

収納ケース



＊外形寸法
525 × 346 × 236（㎜）
コードNo.314837

図３－３

用　　途

○コンクリート補強用に使用する鉄筋の切断，および曲げ作業

注 **• D 13 mmより太い鉄筋，または鉄筋以外のものを切断したり，曲げたりすると，本体を破損させる場合がありますので，絶対にしないでください。**

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ(延長) コード……

⚠ 警　告
• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 ㎟	20 m
1.25 ㎟	30 m
2 ㎟	50 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破損するおそれがあります。また，直流電源や，エンジン発電機で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動して，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り，離すと切れます。スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．カッタの取り付けボルトを確かめる……

カッタを取り付けている六角穴付ボルトがしっかりと締め付けられていることを念のため，付属の六角棒スパナで確かめてください。 ゆるんだ状態でご使用になりますと本体やカッタの破損をまねくだけでなく，事故の原因になります。

4．カッタに異常がないことを確かめる……

カッタに異常がないことを確かめてください。

“摩耗”，“変形”，“欠け”の生じたカッタを使い続けますと，本体やカッタの破損をまねくだけでなく，事故の原因になります。

5．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

切 断 方 法

⚠ 警　告

- **本機は，手持ち工具ではありません。必ず床や地面の安定した所へおいて使用してください。**
- **運転中は，絶対にカッタに手を近づけないでください。**
- **運転中は，反力受けA，B部に手を近づけないでください。**
- **鉄筋（SD 295，SD 345）以外の材料を切断しないでください。材料が折れて飛散するなどのおそれがあります。**
- **切断作業時でも曲げローラーは動いています。絶対に手を近づけないでください。**

⚠ 注　意

- **D16 mmの加工やD10 mmの2本同時切断は行なわないでください。本体破損の恐れがあります。**

1．通常の切断方法……

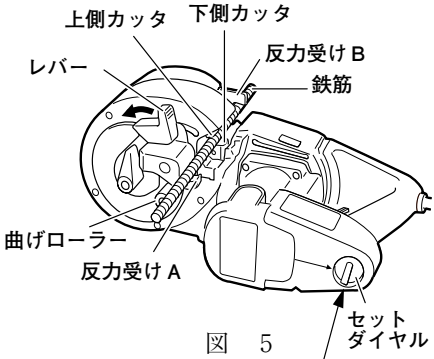


図　5

(1) レバーを矢印の方向へ回して，カバーを開けます。
(2) セットダイヤルを**“切断”**の位置に合わせます。（セットダイヤルを右いっぱいに回す。）（図6）
(3) 本体を左図のような姿勢にします。
(4) 切断する鉄筋を下側カッタの上にセットします。
(5) 鉄筋をセットしたとき，反力受けA，Bのどちらか一方に鉄筋が引っかかっていることを確認します。
(6) スイッチ引金を引いて鉄筋を切断します。

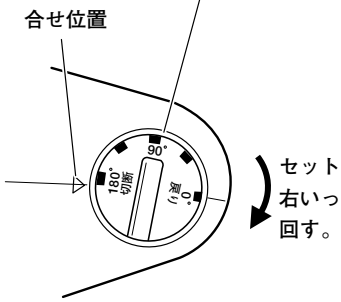


図　6

注
- **鉄筋の切断を終了しても，モーターが逆回転してカッタが戻り始めるまでスイッチ引金を引き続けてください。**
  離しますとカッタは戻りませんので，もう一度スイッチ引金を引いてください。
- **スイッチを切った後，すぐにスイッチを入れるとモータが起動しない場合があります。約1秒待ってからスイッチを入れ直して下さい。**

2．切断途中での鉄筋のはずし方……

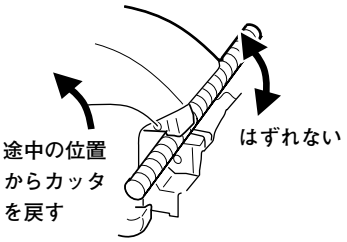


図　7

切断途中にスイッチ引金を離した場合，カッタが中途半端な位置で静止してしまい，切断途中の鉄筋がカッタ部に挟まり，はずせなくなる場合があります。

このようなときは，再度スイッチ引金を引いて鉄筋を切断してしまうか，次の操作を行ない，上側カッタを静止した位置から元の位置まで戻して鉄筋をはずしてください。

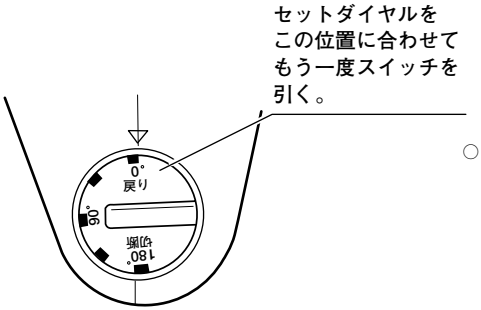


図　8

○**はずし方**

図８のように，セットダイヤルを**“戻り”**の位置に合わせてから，もう一度スイッチ引金を引きます。

カッタの寿命と交換方法

1．カッタの寿命……

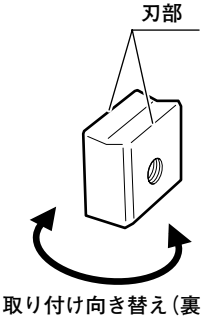


図　9

カッタは鉄筋切断の繰り返しにより刃部が“摩耗”したり，“変形”“欠け”などが生じてきます。このまま使い続けますと機体に損傷を与えるだけではなく，さらにカッタの破片が飛散するなどのおそれがあります。

カッタは図9に示すように刃部が2ヵ所あります。カッタの裏と表の取り付け向きを替えることにより2回使用できます。

鉄筋を約2500本位(目安)切断しましたら，“摩耗”“変形”“欠け”のない刃部を使用するようカッタの取り付け向きを替えるか，または新しいカッタと交換してください。

2．カッタの取り付け向き替え，交換の方法……

(1) 取りはずし前に

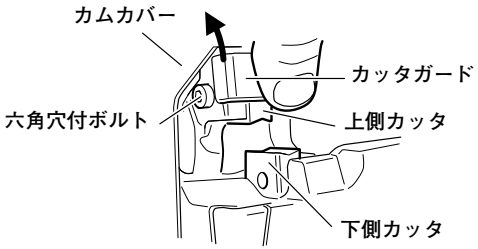


図　10

(イ) スイッチを軽く引き，上側カッタをゆっくり動作させ，上側カッタを固定している六角穴付ボルトがカムカバーの外に出てきたとき，スイッチを切り，モーターの回転を停止させます。

(ロ) 次に，必ずさし込みプラグを電源から抜きます。

(2) 取りはずし

⚠ 警　告
• **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトをはずしますと，カッタが取りはずせます。(上側カッタの取りはずしは，図10のようにカッタガードを矢印の方向へ押し上げると容易にできます。)

(3) 取り付け

(イ) カッタ取り付け部のゴミを清掃します。

(ハ) 付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締め付け，固定してください。

曲げ方法

⚠ 警　告

- **本機は，手持ち工具ではありません。必ず床や地面の安定した所へおいて使用してください。**
- **運転中は，絶対に曲げローラー部に手を近づけないでください。**
- **鉄筋（SD 295，SD 345）以外の材料を曲げないでください。材料が折れて飛散するおそれがあります。**
- **D 10 mm鉄筋は 2 本以下，D 13 mm鉄筋は 1 本ずつ曲げてください。**
- **曲げ作業時でもカッタは動いています。安全のため，カッタ部のカバーは必ず閉めてください。**
- **曲げ材料の旋回範囲に人がいないことを確認してから，作業してください。**
- **曲げる鉄筋の余り長さは，最低 120 mm以上確保してください。短いと曲げ加工中に鉄筋がはずれたり，折れて飛散するおそれがあります。（図 13）**
- **鉄筋は曲げローラー内に正しくセットしてください。ローラーから出ていると曲げ作業中に鉄筋がはずれ，飛散するおそれがあります。**

1．セットダイヤルでの曲げ角の設定……

ダイヤル表示の角度により，図 11 のような状態に曲げられます。

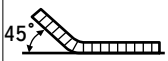
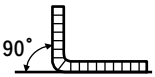
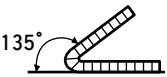
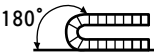
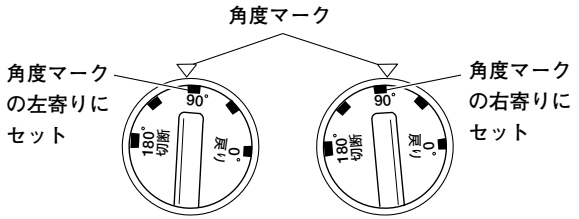
ダイヤル表示	45°	90°	135°	180°
鉄筋の状態				

図　11

D10 mmとD13 mm鉄筋の曲げにおいて，鉄筋の太さの違いにより同じダイヤル位置では，曲げ角度の差が生じます。図 12 のように同じ曲げ角度でも鉄筋径によってセットダイヤルの位置を少し変えることをおすすめします。

D10 mm鉄筋曲げの場合は角度マークの左寄りに，D13 mm鉄筋の場合は右寄りにセットすると，ダイヤル表示に近い角度で曲げられます。



注

- **鉄筋径や鉄筋の硬さのばらつきによっては，同じダイヤルセット位置でも曲げ角度が異なる場合があります。角度マークは，あくまでも目安としてください。**

2．通常の曲げ方法……

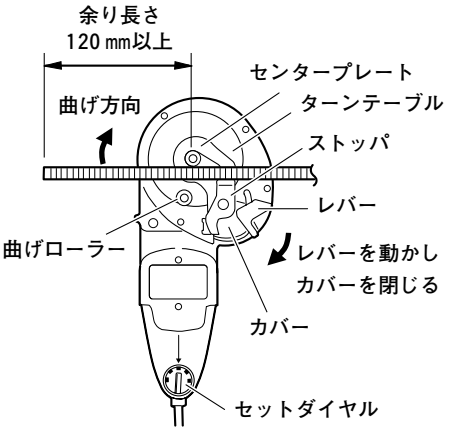


図　13

(1) 本体を図14のようにターンテーブルを上にした姿勢にします。
(2) カバーが閉じられていることを確認します。
(3) セットダイヤルを希望の角度にセットします。
(4) 鉄筋を図13のようにセンタープレートのストッパに当てがい，正しくセットします。
(5) スイッチ引金を引いて，鉄筋を曲げます。
(6) モーターが逆回転して曲げローラーが戻り始めるまでスイッチ引金を引き続けてください。
(戻り始めたら，曲げローラーは，スイッチ引金を離しても自動で元の位置まで戻ります。)

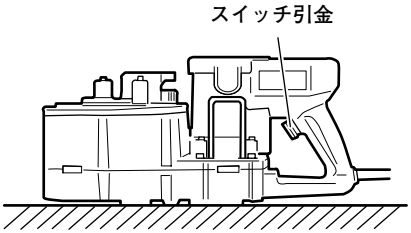


図　14

注 • **スイッチを切った後，すぐにスイッチを入れるとモータが起動しない場合があります。約1秒待ってからスイッチを入れ直して下さい。**

3．目測での曲げ方法……

本機は，無段変速スイッチを採用しておりますので，**“ダイヤル設定による曲げ”**の他，目測で希望の角度に鉄筋を曲げることができます。

⑴ セットダイヤルを希望の角度より大きめにセットします。
⑵ スイッチ引金を軽く引いて，鉄筋をゆっくり曲げます。
⑶ 鉄筋が希望の角度まで曲がったら，スイッチを引くのをやめます。
　曲げ不足のときは，もう一度スイッチを引きます。
⑷ 曲げ終わった後は鉄筋を取りはずし，さらにもう一度スイッチを引いて曲げローラーを元の位置まで戻します。（曲げローラーが逆回転を始めるまでスイッチを引き続けます。）

4．曲げ途中での鉄筋のはずし方……

“目測での曲げ”において低速で曲げを行なった場合，鉄筋がそれ自体のたわみにより曲げローラーに挟まってしまい，はずせなくなる場合があります。

そのようなときは，セットダイヤルを**“戻り”**の位置に合わせて，スイッチをもう一度引くと曲げローラーを元の位置まで戻すことができます。これは，切断時，カッタ部に挟まった鉄筋をはずすときと同じ方法です。

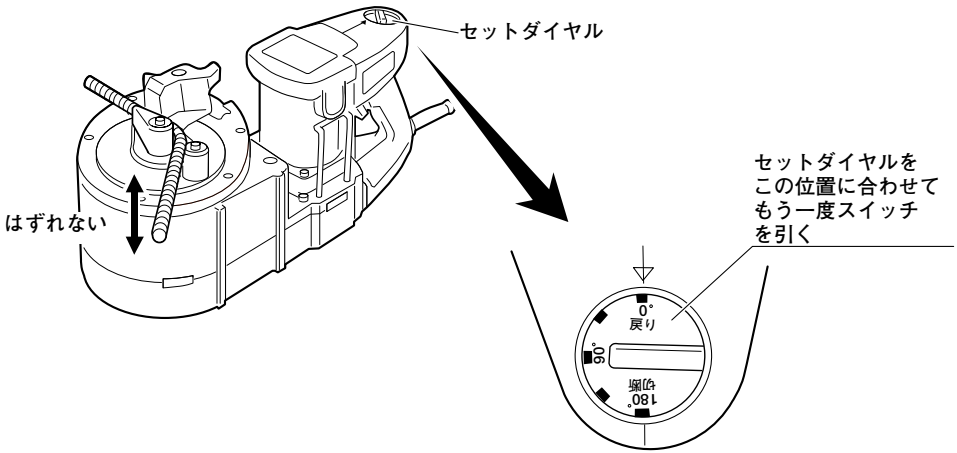


図　15

5．曲げ角度測定板の利用……

本機は，曲げ後の鉄筋の角度が測定できるように，カムカバー自体が角度測定板になっております。ぜひ，ご利用ください。

・具体的使用法

（例）D13㎜鉄筋　45度曲げ

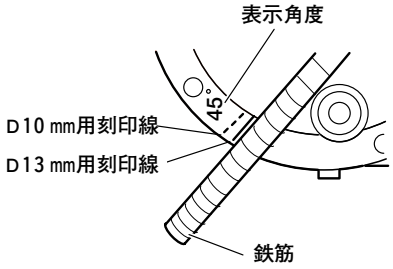


図16のように真上から見て，刻印線と鉄筋が合った所が表示角度の曲げ角を示します。
（鉄筋径によって刻印線が異なりますので，注意してください。）

図　16

6．本体固定用穴の利用法……

本体中央には，本体固定用穴が1ヵ所開いています。
この“本体固定用穴”は，下記の要領で使用しますと大変便利です。

○曲げるとき，台に固定して使用する場合

適当な台にボルトとナットにより固定して使用する場合に便利です。
（ボルトサイズ Ｍ10，Ｗ3／8以下）

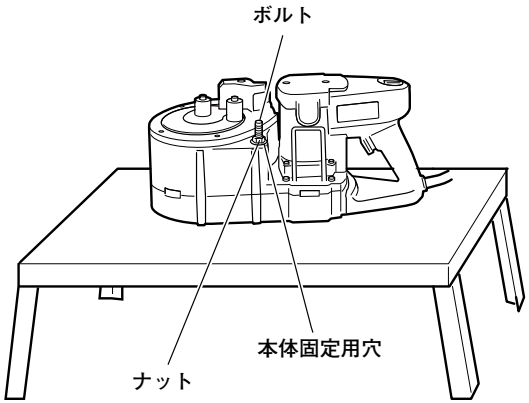


図　17

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．使用後の手入れ……

使用後は，特に刃部周辺やターンテーブル上面をブラシなどで掃除してください。

2．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……

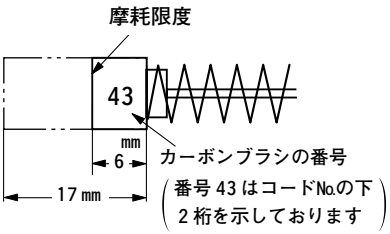


図　18

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因になりますので，長さが摩耗限度（6 ㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号(43)の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，テールカバーのプラスネジ２本をはずし，マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図１参照)をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50 時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．表面のよごれの清掃 ……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

水がモーター部に入るとモーターの絶縁を弱めますので，水あらいなどは絶対にしないでください。

6．製品や付属品の保管 ……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○ 温度が急変する場所
- ○ 直射日光の当たる場所
- ○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前8：50 ～ 午後5：20）

日立工機株式会社

部品コード　C99087502　N